
音色

零崎 戯識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

音色

【Nコード】

N2415R

【作者名】

零崎 戯識

【あらすじ】

世の中には稀に特異な能力を持った人間が存在する。^{ヒビキ}響 ^{ネイロ}音色…
彼は能力を悪用する奴らをギルド〜リンク〜で他の仲間達と能力を^{チカラ}駆使し戦い確保していた。今日も奴らを確保するために音色は任務に挑む。

始まり

ぎいいん

快音だか怪音だか壊音だかわからないが確かに音といえるものが鳴り響いた

どろっ

1人、そこに倒れた

「> 姫の忘れ物く（シンデレラ）、姫路^{ヒメジ} 靴擦^{クッスレ}くを確保しました」

僕は携帯端末に話した

「お疲れさま。響ヒビキ 音色ネイロ」

と携帯端末は言った

…いや、言ってるのは正しいじゃないけど、当然だけど

何気ない日常

それはどういふ物なんだろう

幸せな日々

不幸な日々

ただ死を待つ日々

ただ同じような日々をループ（繰り返す）日々
死に果てた日々
無くなった日々

おそらく

何気ない日常とは言葉だけでしか
存在しない日常だろう

うん、どうでもいい話だ

ただの独り言

まあ、ギルドへ帰るとするか

任務を遂行する日常へ
また帰ろう

見えてきた

ギルド〜リンク〜

ここが僕達の
家であり仕事場だ

というか僕はさっきから
誰に語っているんだ

「我ながら気持ち悪い（苦笑）」

と呟いた

「なんだとお！？」

突然前から声がした

誰だ？

見てみると巨体が

前にどすーんと仁王立ちしている

「…っ」

やれやれ

面倒な奴に会ったな

「ども、カガミ鑑キョウウ鏡さん」

「さっき俺に気持ち悪いっていったか、ああ？！」

鑑さんは
同じギルドで働く男性だ
20歳くらいだけど、まあ、うん
それなりの実績はある（だろう）

「言ってますん」

「ああ?? 嘔吐き野郎が」

「言ってますん」

「お前なあ!! 俺の能力があれば簡単にわか」鑑さんには言ってますん」

鑑さんが話している途中に僕は一言投げつけ
ギルドに向かった

ああ、ウザい

「っの野郎」

後ろから何か聞こえたような気がした

ギルドのドアを叩き
中に入ろうとしたら例の
「アイツ」が来た

男性は眼鏡をかけていて
髪は長めだ

「指紋を確認するね」

「アイツ」…こと指紋認証係
認識断ニシキダシ

ギルドに入るとき一応確認のために指紋を認証する役目を断さんは
担っている

「判断します」

眼が異様に様々な色に煌めく

「レコグニション アイ
《認証眼》」

断さんが能力を使った

「はい、音色さん。お帰りなさい」

ニコッと断さんが微笑む

「どつも」

そう言って断さんと別れた

この世には
稀に特殊能力を持った人間が
人間と呼んでよいのか分からないが
人間のカタチをした者が生まれる

そんな能力を持った人間は
その能力チカラを悪用したり、活用したり、隠したりする人がいるだろう

そんな能力チカラを最近
持つ者が異様に増えた

そして能力チカラを悪用し
一般人に被害を加える奴らも増えた

もちろん、一般人は
そんな奴らには適わない

そんな一般人を守るために結成されたのが

ギルド〜リンク〜のような

☆ギルド☆

ギルドは数は少ないが世界に所々あり、それぞれの地域で能力を悪用する奴らを確保する

確保された奴らは

ギルドのトップ

ギルド〜LAST〜

に送られることになる…

その後はどうなっているのか僕は知らない

そして僕は

そんな1つの☆ギルド☆ではたらいている

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2415r/>

音色

2011年10月8日20時04分発行